



271

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年7月13日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

「野人」と呼ばれた男 岡野雅行さんの現在地

13日(日)=1、3面

迫る



元サッカー選手で、その俊足を生かしたプレーなどから「野人」のニックネームで愛された岡野雅行さん(52)＝写真。浦和レッズや日本代表で活躍し、現役を引退して12年。今年2月、古巣の浦和レッズに戻り、「レッズ・ブランドアンバサダー」というポジションに就任しました。広報大使のような役割で、いわば「なんでも屋」。サポーターとのイベントへの参加だけでなく、県警との防犯啓発イベントなど社会貢献活

動にも積極的です。

レッズのサポーターは「熱い」応援で知られますが、時々トラブルを起こすことも。岡野さんは「なにか不満があれば僕に言ってほしい」と矢面に立つ覚悟です。

営業など幅広い活動を続けていますが、岡野さんは「あの試合があったから緊張はしない」と語る試合があるといいます。それは、日本中のサッカーファンが知るあの劇的な一戦でした。

そこが聞きたい

性的少数者の人権問題 13日(日)=くらしナビ面

出生時に割り当てられた性別とは異なる性別で生きるトランスジェンダーの権利擁護が課題となっています。

生殖機能をなくす手術を性別変更の条件とした性同一性障害特例法について、

最高裁が2023年に違憲と判断しましたが、法改正はなされないままです。

国連審査にレポートを出した高井ゆと里・群馬大准教授＝写真＝に、問題の現状をインタビューしました。



陣痛緩和などのためにビーナツ形のボールの使い方を説明する田辺けい子さん＝神奈川県立保健福祉大学で

特集 **ワイド**

中学高校の海外研修先 新興国人気のワケ

14日(月)=夕刊2面

中学受験の志望校選びに際し、海外への留学や研修機会を重視するケースも多いようです。カナダや米国など英語圏での語学研修が依然として主流ですが、非英語圏の新興国や途上国を訪ね、異

文化を体験したり、フィールドワークしたりする学校も増えているといいます。

生徒たちは何を学び、どんな影響を受けるのでしょうか。実態を探りました。



論点 無痛分娩の背景にあるもの

18日(金)＝オピニオン面

出産時の痛みを麻酔で和らげる無痛分娩への助成を、東京都が全国に先駆けて10月から始めます。無痛分娩は不安やストレスを軽減し、産後の体力回復も早めるとして、世

界保健機関(WHO)も推奨し、フランスでは約8割が利用していますが、日本は1割強にとどまります。背景に何があり、今後の課題は何なのか。

毎日新聞

松田馨さんが登壇します。ぜひご参加ください。(坂井友子)

